



# たかむく 2024

明章小学校  
学校だより7号  
令和6年7月10日

## 「温かい人間関係の構築」の推進

先日実施したいじめアンケートへのご協力ありがとうございました。いじめへの対応については、引き続き「未然防止」「早期発見と対応」に力を入れて取り組んでまいります。

学校では教科の学習だけでなく、人との関わり方も勉強します。そのために特別活動という時間があり、学級会活動や運動会などの学校行事を行うことで、多様な他者と関わり合い、集団における行動や生活のあり方を学びます。

多様な他者と関わるのは、大人でも難しいことです。職場でのストレスの原因に人間関係をあげる人も多くいます。子どもの場合でも同じように人間関係でトラブルが起きます。悪口を言った・言われたとか、無視した・されたとか、嫌がらせとかいじめとか、とにかくトラブルがたくさん起こります。未完成な子どもたちですから、うまくいかないのが当たり前なのです。大人の目から見て「どうしてそうなるの」ということも多いです。トラブルは当事者同士がお互いに成長するきっかけとなることもあります。できるだけ子どもたちで解決できるようになってほしいと考えます。大人の介入がマイナスに働く場合もありますので、温かい目で見守っていきたいです。

人間関係のトラブルの解決には、自分が成長することが大切です。相手も同じように成長してくれればいいのですが、相手の行動や感情を自分の思い通りに動かすことはとてもむずかしく、自分ができる範囲で自分の考え方や言動を変えていくことが必要です。しかし、子どもたちは自己中心性が強く、「相手が悪い」という主張を変えられず、自分の考えなど変えるのは高学年になってもできないことが多いです。「友達のよさを見つけようとせずに、悪いところばかり見ているからだめなんだよ」とアドバイスしても納得してくれません。

金子みすゞさんの「わたしと小鳥とすずと」という詩をご存じでしょうか。「みんなちがって、みんないい」という一文で終わる詩です。人にはそれぞれ違いがあって、得意なことも苦手なこともあるけれど、それを認め合って「みんなちがって、みんないい」と思うことの大切さ伝えていきます。この詩のメッセージのように、明章小学校のどの学級も「みんなちがって、みんないい」と思える雰囲気ですごせるようになってほしいと思います。

そのために、スクールプランにも掲げました「温かい人間関係の構築」にさらに一層取り組んで参ります。保護者の皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

